

社会福祉法人愛生会

令和3年度事業報告書

1. 本部拠点（八千代市吉橋 1059-17）
 - ①社会福祉法人愛生会
 - ②特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑
 - ③在宅介護支援センター愛生苑
 - ④ケアハウスガーデンライフ八千代
2. かがやき拠点（八千代市大和田新田 346-1）
 - ①愛生苑デイサービスかがやき
3. なごみ拠点（八千代市緑が丘 2-17-1）
 - ①グループホームなごみ
 - ②小規模多機能居宅介護なごみ
4. 村上地域拠点（八千代市村上 1113-1 村上団地 2-7-104）
 - ①八千代市村上地域包括支援センター

令和3年度 社会福祉法人愛生会の事業報告

はじめに（総括）

令和3年度も新型コロナウイルスの対応に迫られる1年となりました。入念な感染症対策を講じておりましたが、残念ながらご利用者様1名が罹患してしまい、また、職員も第六波のさなかで、家庭内感染による罹患者が発生してしまいました。幸いにもクラスターとはならず、散発的な発生で他のご利用者様、職員に感染が広がることは一切なく終わりましたが、ご利用者様およびご家族様、地域の事業所様にご迷惑をおかけすることになってしまいました。

引き続き安全確保のための徹底した対策を講じて参りますが、ご利用者様やご家族様へのご不便を最小限にし、社会福祉法人としての役割や使命を全うするために取り組んで参ります。

決算としては令和2年度と比較して、令和3年度は収支差額に物足りなさが見られましたが、令和3年度当初予算より上回った結果となりました。デイサービスにおいて新型コロナウイルスによる多少の利用控えが見られることが利用率改善の妨げになっており、小規模多機能型居宅介護とともに早急な対応が必要となります。特別養護老人ホームは前年度同様に堅調な利用率を維持できましたが、退職者の補充に時間と費用がかかってしまいました。退職等による職員の入れ替えが発生する事業所においては、収支に影響を及ぼしてしまう傾向にありますので、コロナ禍であってもより一層の工夫を凝らして、サービスの向上や質の向上のみならず、職員の満足度を向上させる取り組みを行って参ります。

令和4年度は、昨今の世界情勢が日本経済および財政にどれほどの影響があるのかが、新型コロナウイルス以上の懸念材料となっている様に見受けられます。介護サービスにおいては光熱費やガソリン代の高騰が直接的に影響しており、食材料費の上昇も心配な点として挙げられます。実際に令和3年度においても影響が出ていましたが、その影響を吸収できる事業運営が求められていると思われまます。

新型コロナウイルスの動向についても油断することなく注視をしていき、行政や医療機関と緊密な連携を図りながら、安全安心の体制を構築して参ります。

令和3年度 特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑の事業報告

1. 特別養護老人ホーム 愛生苑

(1) 令和3年度 月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	1名	1名	3名	2名	1名	3名	1名	0名	1名	1名	0名	0名
退所	1名	1名	2名	3名	1名	0名	2名	0名	1名	0名	0名	2名

新規入所 合計 14名（経緯：在宅 8名、他施設 5名、病院 1名）

退 所 合計 13名（苑内にて 6名、病院にて 4名、長期入院 3名）

(2) 令和3年度 月末入所者数の推移

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	延べ人数
4月	0名	1名	14名	27名	18名	61名	1,717名
5月	0名	1名	14名	27名	19名	61名	1,773名
6月	0名	1名	14名	29名	18名	62名	1,739名
7月	0名	1名	12名	27名	21名	61名	1,832名
8月	0名	1名	12名	27名	21名	61名	1,812名
9月	0名	1名	12名	30名	21名	64名	1,839名
10月	0名	1名	12名	29名	21名	63名	1,869名
11月	0名	1名	11名	30名	21名	63名	1,830名
12月	0名	1名	11名	30名	21名	63名	1,936名
1月	0名	1名	11名	31名	21名	64名	1,931名
2月	0名	1名	11名	31名	21名	64名	1,757名
3月	0名	1名	11名	30名	20名	62名	1,927名
合計	0名	13名	145名	348名	243名	749名	21,962名

※定員 64床にて稼働

(3) 年齢構成 ※令和3年度末月集計より

年齢階層	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男女合計	1名	11名	24名	25名	1名

(4) 令和3年年度年間の男女平均年齢、最高年齢

男性平均年齢	85.0歳	最高年齢	97歳
女性平均年齢	87.8歳	最高年齢	100歳
男女平均年齢	87.3歳		

(5) 平均介護度

・男性平均介護度 3.9 ・女性平均介護度 4.1 ・男女合計平均介護度 4.1

(6) 令和3年度 年間行事活動報告

	装飾	行事・外出	月間レクリエーション
4月	さくら	カラオケ (少人数)	レクリエーション (ドリル、塗り絵、動画等以下同様)
5月	鯉のぼり	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
6月		ソフトクリーム屋さん カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
7月	七夕飾り	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
8月	夏の装飾	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
9月		敬老祝い、ソフトクリーム屋さん カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
10月	紅葉	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
11月	冬の装飾	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
12月	クリスマス	カラオケ (少人数)、クリスマス会	お楽しみ入浴 レクリエーション
1月	正月飾り	オンライン初詣 カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
2月	節分	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
3月	ひな人形	お花見ドライブ カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション

集団でのレク活動は行わず、3密回避対策にて数名単位でのレク活動を中心に実施しました。行事は計画していましたが、緊急事態宣言発令等により感染予防対策の為やむを得ず中止とするイベントも発生しました。また外出行事はほとんど中止となった為、装飾に力を入れ季節を感じて頂けるように対応したり、個別に行う余暇などへ切り替えた状況でした。

2. ショートステイ愛生苑

(1) 令和3年度 月別利用者数の推移

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	実人数	延べ人数
4月	0名	8名	56名	132名	119名	106名	27名	416名
5月	0名	12名	51名	119名	150名	104名	25名	436名
6月	0名	14名	45名	135名	164名	86名	25名	444名
7月	0名	22名	50名	119名	178名	40名	26名	409名
8月	0名	10名	59名	137名	182名	32名	29名	420名
9月	0名	16名	61名	129名	133名	24名	25名	363名
10月	0名	4名	83名	147名	111名	25名	25名	370名
11月	0名	0名	79名	133名	113名	26名	25名	351名
12月	0名	0名	82名	167名	101名	31名	23名	381名
1月	0名	3名	79名	137名	124名	30名	22名	373名
2月	11名	0名	75名	141名	92名	26名	21名	345名
3月	31名	0名	80名	157名	111名	45名	24名	424名
合計	42名	89名	800名	1653名	1578名	575名	297名	4737名
割合	0.9%	1.9%	16.9%	34.9%	33.3%	12.1%	—	—

(2) 利用状況

- ①令和3年度新規利用者数 18名（全て八千代市在住の方）
- ②地区別利用実績 八千代市、習志野市、千葉市花見川区

(3) 年齢構成

- ①令和3年度末月集計より

	～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男性	0名	1名	2名	4名	1名	0名
女性	0名	0名	3名	8名	5名	0名

(4) 令和3年度年間男女平均年齢、最高年齢

男性平均年齢	78.9 歳	最高年齢	96 歳
女性平均年齢	84.6 歳	最高年齢	100 歳
男女平均年齢	82.2 歳		

(5) 平均介護度

・ 男性平均介護度～3.0 ・ 女性平均介護度～3.5 ・ 男女平均介護度～3.3

3. 各課業務、活動報告

(1) 生活相談課

①業務報告

入退所業務	月次業務	行政との連絡調整	地域連携、その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入所相談 ・ 入所申込者管理 ・ 入所検討 ・ 事前面接、調整 ・ 契約書作成、説明 ・ 入退所手続書類作成 ・ 貴重品管理、返還手続 ・ 契約解除手続 ・ 行政報告書類作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談業務 ・ 利用者生活状況確認 ・ ご家族対応、連絡 ・ カンファレンス ・ 近況報告、書類作成 ・ 入退院連絡調整 ・ 苑内外の行事調整 ・ 介護保険請求業務 ・ 病院受診、救急対応 ・ 各会議への参加 ・ 送迎業務 ・ 事業所間連絡、調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入退所状況報告及び書類作成 ・ 介護保険申請 ・ 認定調査調整 ・ 行政手続き代行 ・ 各種報告書作成 ・ 不在者投票事務 ・ 生活保護受給者の連絡調整及び書類作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設見学、説明 ・ 職場体験学習受入 ・ 実習生受入れ ・ 外部業者との調整 ・ 近隣との関わり調整

②部門計画の報告

＝特別養護老人ホーム愛生苑＝

1. 業務継続体制の強化

新型コロナウイルス感染症予防対策に取り組んだ結果、施設内感染者の発生はなく、また例年に比べて入院者や退所者数は減少した事で、比較的安定して利用者数を維持し、継続運営が図れました。その反面、長期利用者の重度化が進み、介護量も比例して増大する結果となりました。引き続き、入所については慎重な準備作業が求められるため、感染症対策中でも遅滞なく入所できる体制確立や長期入所における重度化利用者の増加に伴う介護体制や生活環境の整備が課題となりました。

2. サービスの適正化

施設内集団感染予防を重点的に取り組んだ結果、利用者生活においては一部制限する生活スタイルを継続し、基本的な介護サービス提供に留まりやすい生活環境を作り出していました。コロナ禍ということでは利用者や家族、その他各種関係機関にはその都度理解を得ながら必要なサービスを提供することが出来ましたが、感染予防対策が長期化するにつれて、サービス内容や提供方法の見直しが継続的な課題となりました。

＝ショートステイ愛生苑＝

部門計画の報告

・感染症対策における受け入れ体制維持

新型コロナウイルス感染症発生を想定しながら、事業継続運営を行うことができました。各種サービスを併用している利用者については、感染者と接触している恐れがある場面では利用を断るケースも発生しましたが、利用者の健康観察や情報共有に努めていくことで再利用に繋げていくことが出来ました。コロナ禍での個別サービスの質や満足度の維持向上のためには、迅速な情報把握と判断、ケアマネージャーや家族との連携や相談が引き続き課題となりました。

(2) 介護サービス課

①部門計画の報告

1. エリア別介護第Ⅱ工程

業務内容や配置職員の見直しを行い、職員の負担軽減だけでなく、安全に利用者のケアを行う事ができるようになりました。しかしフロアによって勤務超過が発生するケースがあり、その問題は人員を増やすだけでは解決に至りませんでした。主任職間で会議を定期的開催できる体制を再構築し諸問題に対し働きやすい環境を整える調整をしてきました。又統一した目標に沿って各フロア共同で業務を行えるようにする事が今後の課題となりました。利用者のフロア移動は随時 ADL や精神面の状態に合わせ実施し、その方に合った環境で生活が送れるようになりました。

2. 教育

中堅職員の退職等により新人職員の教育が主な一年となりました。フロア環境によって育成状況に偏りがでてしまい、指導職員の課題が浮き彫りとなりました。次年度は育成状況を指導職員間で情報共有し、意見交換をしながら新人職員のサポートをしていきます。

勉強会や研修も計画通りの参加とはいきませんでした。コロナ禍は今後も続くと思定し次年度は新人教育と研修担当を別に設けて職員の教育に力を入れていきます。

3. レク活動の充実化

年度初めは人員に余裕があり、毎週小グループのレク活動を行う事ができました。コロナ禍による日々の業務と感染症対応、職員体制事情、新人教育に時間を要した事で活動は減っていききました。慢性的な人員不足と多忙な中でのレク時間の確保、職員の意識改革が課題となりました。今後もレクの充実化は特養の目標とし、楽しみある生活の提供について話し合い解決に取り組んでいきます。

②委員会の各種活動報告

委員会名	活 動 内 容
生活委員会	排泄担当： 排泄用品の管理と集計、排泄状況の把握・見直し、勉強会開催 排泄一覧表更新、業者間の情報共有 入浴担当： 入浴機器の管理（機械浴、チェアー、消毒、ろ過機、メンテナンス） 入浴形態のチェック・入浴一覧表の作成、入浴実施記録確認 食事担当： 食品発注と在庫管理、食事用備品の管理（エプロン、コップ、おしぼり、とろみ剤など）、冷蔵庫・食品棚の管理、口腔ケアの備品管理発注（歯ブラシなど）、とろみ剤の管理
レク委員会	コロナ禍における年間行事、レクリエーションの検討と実施、季節ごとのフロア装飾の管理と実施、お楽しみ入浴の実施
リスク委員会	入所時のリスクマネジメント検討、リスクマネジメント会議（事故集計、要因分析、再発予防策協議と内部発信・進捗管理、安全用品の管理など
感染症委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について 感染状況や施設内対策の周知、消毒衛生の管理、職員健康チェックの確認、BCP協議 ・通常感染対策について 物品の管理、マニュアルの確認、職員への注意喚起、害虫駆除、掃除用具の管理、勉強会開催など
褥瘡予防委員会	褥瘡対策、会議の管理（スケール評価、協議、計画書作成、評価）、使用物品（体位変換クッション、エアーマット、耐圧分散マット、座面クッション）の管理、体圧測定・褥瘡予防への職員啓発、勉強会開催など

③施設内外研修及び勉強会開催内容

4月	感染症リーダー研修、褥瘡勉強会
5月	喀痰吸引研修、施設内感染症勉強会（新人）、救急対応勉強会
6月	安全対策担当者リスクマネジメント、自己成長啓発

7月	嚥下障害（とろみ剤）
8月	リーダーズ研修、新人職員研修
9月	床ずれ予防オンライン勉強会
10月	喀痰吸引研修、医学知識、高齢者虐待防止研修、BCP策定
11月	認知症の理解とケア、高齢者施設等への応援職員にかかわる感染対策研修
12月	介護福祉士受験者特別研修
1月	感染症対策勉強会、介護支援専門員現任研修
2月	栄養（給食）職員研修
3月	身体拘束勉強会

3年度も、前年度同様に集団で集まることを避け（3密回避）、少人数制における会議・研修・勉強会へ切り替えました。研修はオンラインなどを活用したり、勉強会などは各課へ資料配布にて対応した年度となりました。

（3）医務サービス課

①健康管理活動報告

定期健康診断	年1回（令和3年4月1日～令和4年3月31日実施）
回診	週1回（毎週金曜日 午後実施）
協力病院	新八千代病院
新規入所者	入所前情報提供依頼及び入所後の検診

定期健康診断	胸部レントゲン、頭部CT、心電図、尿検査、血液検査（血清・生化・血糖）
新規入所者	新型コロナウイルスPCR検査 感染症検査、結核、W氏、HBC、HCV、MRSA その他、上記定期健康診断項目

外来受診者延べ人数

専門外来	人数	入院
内科	44名	12名
外科	5名	2名
脳外科	11名	1名
整形外科	34名	0名
精神科	36名	0名
神経内科	17名	0名

形成外科	1名	0名
泌尿器科	4名	0名
眼科	2名	0名
皮膚科	45名	0名
耳鼻科	2名	0名
血液内科	8名	0名
歯科	0名	0名
合計	211名	15名

受診先：新八千代病院 八千代病院 セコメディック病院 島田台病院
 東京女子医大八千代医療センター むらた整形外科クリニック
 東京医科歯科大学附属病院 岡崎外科等

その他

訪問歯科（鈴木歯科医院）	延べ数 425名 受診
インフルエンザ予防注射実施	利用者 59名
新型コロナワクチン予防接種実施	1回目 59名、2回目 59名、3回目 67名

②勉強会、委員会等の各種参加報告

委員会参加	会議参加	研修参加	勉強会	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症委員会 ・虐待防止委員会 ・入所判定委員会 ・リスク委員会 ・褥瘡対策会議 ・身体拘束廃止委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・特養部門会議 ・ケースカンファレンス ・給食会議 ・入所判定会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン コロナ感染症 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員研修 ・感染症と予防策（指導） ・スタンダード・プリコーション（指導） 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査 ・終末期家族への説明 ・病院受診、連絡相談

③部門計画の報告

集団感染予防について

今年度も、新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等による感染性胃腸炎とともに、施設内でご利用者の感染はありませんでした。ご利用者は昨年につき1日2回の検温と健康チェックを実施。発熱者は有熱者外来受診対応とし、協力病院との連携はスムーズでした。職員も1日2回検温を実施し、健康管理の徹底・マスク、ゴーグルの着用、手指消毒とスタン

ダートプリコーションの徹底を行いました。昨年度と比較して、受診件数はやや減少。内科以外の診療科への受診がやや増えました。また、入院者数は昨年同比減少傾向、同じご利用者が入退院を繰り返すケースが多く見られました。

終末期の方では、「まず一度は入院して無理のない範囲の治療をしたい」と望まれるご家族が多くなり、看取りを希望されるケースはやや少なくなっています。感染予防に留意しながら、ご利用者の終末についてのカンファレンス等の話し合いの機会を持ち、質の高い終末期のケアが出来るよう取り組みを継続していきます。

(4) 栄養管理課

昼食時の年間食数状況

	特 養	ショートステイ	ケアハウス	かがやき	小規模 多機能	グループ ホーム	職 員	合 計
4 月	1,717	416	351	393	476	518	988	4,859
5 月	1,773	436	375	387	524	517	982	4,994
6 月	1,739	444	354	404	511	480	925	4,857
7 月	1,832	409	362	455	503	491	932	4,984
8 月	1,812	420	387	438	462	523	941	4,983
9 月	1,839	363	374	414	471	498	919	4,878
10 月	1,869	370	377	411	454	497	982	4,960
11 月	1,830	351	386	417	456	466	912	4,818
12 月	1,936	381	401	415	466	511	838	4,948
1 月	1,931	373	386	368	522	527	718	4,825
2 月	1,757	345	363	364	465	476	738	4,508
3 月	1,927	424	377	427	503	546	794	4,998
合計	21,962	4,732	4,493	4,893	5,813	6,050	10,669	58,612
月平均	1830.1	394.3	374.4	407.7	484.4	504.1	889.0	4884.3
1日平均	60.1	12.9	12.3	13.4	15.9	16.6	29.2	160.5

令和3年度 給与栄養目標量

給与エネルギー目標量設定票より、1250Kcal、1450kcal、1650kcalの3つを設定した。その他の栄養素の算出

タンパク質 → カロリーの16% それぞれ50.0g、58.0g、66.0g

脂肪 → カロリーの23% それぞれ32.0g、37.0g、42.0g

EER	EAR	RDA	AI	UR	DG
推定エネルギー必要量	推定平均必要量	推奨量	目安量	耐容上限量	目標量

70歳からの摂取目安量

	たんぱく質(g)		総脂質(g)		炭水化物(g)		食物繊維(g/日)	カルシウム(mg)			鉄(mg)		
	EAR	RDA	DG下限	DG上限	DG下限	DG上限	DG	EAR	RDA	UR	EAR	RDA	UR
男性	50.0	60.0	26.7	50.0	150.0	315.0	19以上	600	700	2,500	6.0	7.0	50
女性	40.0	50.0	26.7	50.0	150.0	315.0	17以上	500	650	2,500	5.0	6.0	40

	ビタミンA (μgRE)			VD	ビタミンB1(mg)		ビタミンB2(mg)		ビタミンC (mg)		食塩相当量(g/日)	
	EAR	RDA	UL	AI	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	DG
男性	550	800	2,700	5.5	1.00	1.20	1.10	1.30	85	100	1.5	8.0g未満
女性	450	650	2,700	5.5	0.80	0.90	0.90	1.10	85	100	1.5	7.0g未満

	推定エネルギー必要量	たんぱく質	脂質	炭水化物	食物繊維	Ca	Fe	VA	VD	VB1	VB2	VC	食塩
	Kcal	g	g	g	g	mg	mg	μg	μgRE	mg	mg	mg	g
常食Ⅰ	1,250	50.0	32.0	190.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
常食Ⅱ	1,450	58.0	37.0	220.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
常食Ⅲ	1,650	66.0	42.0	250.0	19.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満

【給食状況】

	熱量	蛋白質	脂肪	Ca	鉄	レチノール 当量	V. B1	V. B2	V. C	繊維総量	食塩
	Kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	g
4月	1,535	57.9	37.4	611	5.8	663	0.90	0.83	105	19.2	8.70
5月	1,523	57.5	36.8	601	5.6	675	0.89	0.80	108	19.1	8.70
6月	1,518	58.1	35.9	612	5.7	691	0.89	0.81	106	19.2	8.80
7月	1,522	57.9	36.1	598	5.7	703	0.92	0.80	102	19.3	8.80
8月	1,524	57.5	36.6	599	6.0	608	0.84	0.79	103	20.0	8.90
9月	1,521	58.3	36.0	600	5.8	805	0.90	0.80	103	19.4	8.60
10月	1,525	57.4	36.5	584	5.8	848	0.91	0.78	100	19.4	8.80
11月	1,522	58.1	36.8	580	5.8	941	0.92	0.83	102	19.3	8.50
12月	1,518	57.8	35.8	624	5.7	675	0.88	0.79	103	19	8.80
1月	1,533	58.1	37.1	571	5.7	769	0.86	0.74	93	19.2	8.40
2月	1,509	57.1	38.1	612	6.0	889	0.90	0.82	103	19.1	8.60
3月	1,485	58.9	39.4	587	6.1	878	0.98	0.79	110	21.2	8.50
合計	18,235	695	443	7,179	70	9,145	10.79	9.6	1,238	233	104
平均	1,520	57.9	36.9	598	5.8	762	0.90	0.80	103	19.5	8.68
目標量	1,450	58.0	37.0	600	6.0	650	0.90	1.10	100	17.0	8g未満

平均

	熱量	蛋白質	脂肪	Ca	鉄	レチノール 当量	V. B1	V. B2	V. C	繊維総 量	食塩
	Kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	g
上半期	1,524	57.9	36.5	604	5.8	691	0.89	0.81	105	19.4	8.8
下半期	1,515	57.9	37.3	593	5.9	833	0.91	0.79	102	19.5	8.8

ミキサー食等の詳細

	エネルギー Kcal	たんぱく質 g	脂質 g	水分 cc	備 考
ミキサー粥	168	2.5	0.3	228	御飯100g 水160cc
ミキサー多め	202	3.0	0.4	274	御飯120g
ミキサー大盛	218	3.3	0.4	296	御飯130g
全粥230g	163	2.5	0.2	191	
全粥250g	178	2.5	0.2	208	
全粥1/2	114	1.8	0.2	133	全粥160g
ミキサー副食	596	44.2	33.6		
全粥1/2 ミキサー	938	50	34.2	816	全粥160g
全粥230g ミキサー	1,085	51.7	34.2	990	

【行事状況】

月	行 事	内 容
4 月	開苑記念日	お弁当（赤飯、天ぷらの盛り合わせ、他） 桜、春のお菓子
5 月	こどもの日	抹茶のお菓子
6 月		ソフトクリーム屋さん
7 月	土用の丑の日	土用の丑の日、七夕ちらし
8 月	暑気払い	お楽しみ菓子
9 月	敬老の祝い	お祝い善、ソフトクリーム屋さん
10 月	中秋の名月	秋の収穫祭おやつ①（中秋の名月）
11 月	鮪お楽しみ	マグロ丼、ネギトロ丼（鮪解体ショーを中止し変更）
12 月	クリスマス 年越しそば	チキン、ケーキ かき揚げそば
1 月	お正月	赤飯、おせち料理、雑煮風汁、正月菓子、甘酒など
2 月		
3 月	ひなまつり	桜まんじゅう

○部門計画の報告

・基本サービスの充実化

コロナ禍の状況にて行事が中止となる中、集団生活における感染予防対策をしながら必要エネルギーを提供する工夫を行ってきました。衰弱化する方や嚥下機能低下の方は全体的に摂取量が低下され必要エネルギーの確保が難しい状況でしたので、部門内や家族、医師との連携にて栄養補助食品や栄養経口飲料の処方等を通し栄養改善に努めることができました。個別案件においては嗜好による好き嫌いに対し代替え食を提供する、モニタリング・ミールラウンドを通し栄養管理の向上へとつなげる予定でしたが、日常業務に追われなかなか進捗が図れなかった状態でした。優先すべき必要栄養量の確保に焦点をあてた年度となりました。

令和3年度 在宅介護支援センター愛生苑 事業報告書

1. 令和3年度部門計画・取り組みの評価

新型コロナの地域での状況に合わせて、感染拡大予防の対応を柔軟に行った年度となりました。利用者との面接自粛、入院中の面会制限が続く中で十分なアセスメントができない場面がありましたが、どのような状況下であっても適切なケアマネジメントを提供し続けるため、事業所内での最新情報の共有や理解の確認に努め、利用者に感染をさせないことを最優先として課題に取り組みました。

令和3年度部門方針「地域に選ばれる対応力のある事業所へ」

1) 取り組み課題：質の高いケアマネジメントの実現

①ケアマネジメントの資質向上の為に会議及び研修等の実施

取り組み内容	評価
定期的・計画的な会議開催	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 困難ケースを中心に月1回のスーパービジョン事例検討会を実施した。多面的総合的にアセスメント内容を深堀していくことで、ケアマネ自身の気づきを促し、アセスメント力向上に効果が見られた。継続的に開催する。 ▶ ケアマネジメントの質の向上を目的とした定期会議を週1回開催した。新規および支援状況の共有が特に必要である利用者について情報を適時共有、また、コロナ関連の動向について最新情報の周知と対応策の検討を行う。
計画的な研修参加 (外部研修)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 主任介護支援専門員及び主任介護支援専門員研修に各1名参加し修了した。 ▶ コロナ禍で対面研修の機会が少ないが、地域包括支援センター及び地域の職能団体主催のzoom研修に積極的に参加した。 ▶ 他法人の運営する居宅介護支援事業所との合同研修は、報酬改定やコロナ対応で事業所間の予定が合わず、年1回の開催となったが、初の試みとしてzoomでの事例発表会を実施した。
強化すべき項目についての研修 (内部研修)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 医療知識難病、精神疾患、認知症等の医療知識やケアマネジメントの注意点等についての勉強会を開催し、最新の医療情報を共有した。複数の病気を持つ高齢者や認知症の高齢者が増える中、個別対応のスキルをあげるために継続的な課題である。 ▶ 権利擁護についての勉強会を開催。高齢者虐待への見地を深め、虐待防止のための着眼点、留意点等を共有した。

②利用者に適切なサービスが切れ目なく提供できるための取り組み

取り組み内容	評価
業務継続に向けた取り組み	感染症及び自然災害に対する事業継続ガイドラインの整備及び研修・訓練等の実施ができなかった。次年度の課題とする。
地域包括ケアシステムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ターミナル期のケアマネジメントを積極的に行ったが要件に該当しないケースが多かった。今年度は事業所初となるターミナルケア加算を算定することができた。 ▶特定事業所加算Ⅱを算定する体制を確保した。ケアマネジャー一人当たり要介護の担当件数の平均は目標を上回り 33 件である。

2) 働きやすい職場環境づくりの推進

取り組み内容	評価
ケアマネジメント業務の効率化推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ケアマネジメントにおける様々な記録に対して振り返りを行ったが、書式の見直しには至らなかった。 ▶事業所ルールの周知は行えているが、ケアマネジャーが統一し行動をとるための新たなルール策定には至らなかった。 ▶ケアマネジャー個々の意識改革によって残業時間が縮小、それによりメンタルヘルスに効果があった。
ケアマネジャー後方支援への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ▶コロナ感染拡大予防のために契約や困難ケースに関して同行訪問がでなかったが、机上でのスーパービジョンを適時実施した。日常的に相談ができる職場環境であると評価する。 ▶ケアプランチェックを実施した。必要な帳票が揃っているか、記録とのすり合わせを行った。ケアプランの内容そのもののチェックには至らなかったが、段階を踏んでの最終目標とする。
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ▶法定研修実習生の受け入れを行った。 ▶令和 4 年度の人員強化に向けての準備のため、既存のケアマネジャーのスキルアップを図った。

(3) 関係各所との連携強化

取り組み内容	評価
行政、地域包括支援センターとの連携	▶虐待の疑いのあるケースを速やかに報告、保護に繋げることができた。また、地域包括支援センターとの連携を実施し引継ぎ等の場面で同行訪問を依頼した。
地域の他居宅介護支援事業所との連携	▶やちよケアマネネットワークを通して研修企画、啓蒙活動を行った。

2. 月別利用状況報告

1) 月別要介護契約登録数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約	4	4	5	6	2	4	1	0	2	2	4	3	37
契約終了	6	5	4	3	3	2	1	2	3	2	4	4	39
請求実績数	135	134	135	138	137	138	139	136	137	138	136	134	1636

ケアマネジャー常勤4名体制。前年度と比較して月平均6件+（一人当たり実績数平均34件）

① 新規契約相談経由内訳

紹介元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更													0
地域包括	4	3	3	6	1	3			1	1	1	2	25
病院/老健							1			1			2
本人/家族			2						1		1		4
事業所						1					1		2
他居宅					1						1	1	3
生活支援課													0
合計	4	3	5	6	2	4	1	0	2	2	4	3	36

地域包括経由内訳：高津緑が丘 10、村上 3、阿蘇睦 2、大和田 5、八千代台 5

利用者の変動が前年度に比べて少なかったため新規契約数が抑えられた。契約終了と同時に新規依頼を受ける状況であり、タイミングにより地域包括や病院等の依頼をお断りすることが多かった。

② 契約終了事由内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更											1		1
死亡	2	3	4		1	2		1	1	2	2	1	19
長期入院		2							1		1		4
特養入所					2				1			1	4
老健入所	2			2									4
グループホーム入所							1						1
民間施設入所	1			1									2
転居	1												1
小規模多機能													0
保険利用中止								1				2	3
合計	6	5	4	3	3	2	1	2	3	2	4	4	39

状態改善等により介護保険サービスの利用が不要と判断されたケースが3件あった。介護保険外のサービス利用またはインフォーマルサービスに切り替えた。

③要介護状態区分別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	39	37	38	42	44	44	43	42	43	43	42	41	498
要介護2	46	49	51	50	49	49	50	48	48	48	45	45	578
要介護3	25	24	22	24	24	24	24	24	24	25	26	23	289
要介護4	13	14	14	14	13	13	14	14	15	13	14	15	166
要介護5	12	10	9	8	7	8	8	8	7	9	9	10	105
合計	135	134	134	138	137	138	139	136	137	138	136	134	1636

前年度比の全体割合：要介護1、2の軽度者62%⇒65.8%、3以上の中重度者38.1%⇒34.2%

軽度者の割合がさらに上昇傾向にある。

2) 認定調査実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
八千代市		1		1		1		1				1	5
他市													0
合計	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5

コロナ特例のため介護認定期間12カ月延長が継続されたため認定調査の実施は前年比6割に留まった。

3) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント一部委託業務状況

地域包括	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大和田	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33
高津緑が丘	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	56
八千代台	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
村上	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
阿蘇睦													0
合計	10	10	10	11	11	11	11	11	10	10	10	10	125

介護給付の安定を図り、予防支援の既存ケースの支援継続を行った。

4) 加算取得状況（請求月で換算）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回	5	4	5	8	2	4	2	0	2	2	2	6	42
入院時連携	2	1	3	4	3	2	2	2	2	8	2	2	33
退院退所	0	1	0	1	0	1	2	2	1	4	4	0	16
通院時連携										1	1	1	3
ターミナル	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

新設された通院時情報連携加算の取得を開始した。前年度と比較して入退院等の取得可能な場面が少なかったため総数は抑えられたが、該当ケースは高率で取得した。

3 計画的な研修参加状況

研修内容	主催	実施月	参加数
令和3年度介護報酬改定研修 (zoom)	千葉県社会福祉協議会	5月	2
ケアプラン作成に必要な薬の知識 (zoom)	千葉県介護支援専門員協議会	6月	1
利用者の特性に応じた接し方とクレーム対応 (zoom)	八千代市地域包括支援センター	6月	3
BCPについて (zoom)	千葉県介護支援専門員協議会	9月	1
地域共生社会の実現とケアマネジメント (zoom)	日本ケアマネジメント学会	10月	1
事例を用いた高齢者虐待及び成年後見制度について (参集)	八千代市地域包括支援センター	10月	2
BCP作成について (参集)	八千代市高津緑が丘地域包括支援センター	11月	1
令和3年度介護報酬改定等のおさらい (参集)	やちよケアマネネットワーク	12月	2
令和3年度介護認定調査員現任研修 (YouTube)	千葉県	12月	3
ソーシャルワーク技術 (参集)	八千代市地域包括支援センター	12月	1
在宅ケアでの困りごと意見交換会	NPO法人やちけあ	3月	1
どのように多職種連携を進めていけばよいのか (zoom)	八千代市糖尿病医療介護連携 (八千代医師会)	3月	1
根拠のある自立支援型ケアプランとは (YouTube)	日本ケアサプライ	3月	2
八千代市医師会脳卒中地域連携後援会 (zoom) 「コロナ禍における現状」	八千代市医師会	3月	1
主任介護支援専門員更新研修 (zoom)	千葉県 法定研修	9～11	1
主任介護支援専門員研修 (zoom)	千葉県 法定研修	1～3	1

例年同様、ITCを活用しての研修が多い中、人数制限を設けた参集形式の研修が開催され、状況に応じて数名ずつ参加した。

令和3年度 ケアハウスガーデンライフ八千代の事業報告

1. 職員数（令和4年3月31日現在）

職種	人数	常勤/非常勤
施設長	1名	常勤1名（兼務）
生活相談員	1名	常勤1名
寮母（介護職員）	4名	常勤2名/非常勤2名

2. 入居者延べ人数

令和3年度上半期		令和3年度下半期	
4月	420名	10月	436名
5月	434名	11月	441名
6月	392名	12月	465名
7月	407名	1月	465名
8月	465名	2月	420名
9月	450名	3月	465名
小計	2,568名	小計	2,692名
		年間合計	5,260名

3. 入居者介護認定状況（令和4年3月31日現在）

・定員 15名 入居者数 15名（男性6名 女性9名）

介護認定	男性	女性	合計
未申請（自立）	1名	3名	4名
要支援1	1名	0名	1名
要支援2	1名	0名	1名
要介護1	2名	1名	3名
要介護2	1名	4名	5名
要介護3	0名	1名	1名
要介護4	0名	0名	0名
要介護5	0名	0名	0名
合計	6名	9名	15名

4. サービス内容（令和4年3月31日現在）

①月別送迎支援状況（延べ人数）

上半期		下半期	
4月	13名	10月	20名
5月	10名	11月	19名
6月	13名	12月	11名
7月	17名	1月	12名
8月	20名	2月	13名
9月	27名	3月	26名
小計	100名	小計	101名
		年間合計	201名

②受診付き添い介助

自立	4名
付き添い介助	10名

③クラブ活動参加状況

内容	担当	実施回数	平均参加者数
リズム体操	職員1名	毎週1回	6名
音読	職員1名	毎週1回	5名
フラワーアレンジメント	職員1名	毎月1回	6名

④行事・余暇活動状況

月	活動内容	参加者数
4月	【スイーツ企画】・	12名
5月	無し	0名
6月	【スイーツ企画】	12名
	【お弁当企画】・一幸	9名
7月	【スイーツ企画】・ろまん亭	12名
	【お弁当企画】・モスバーガー	10名

8月	【スイーツ企画】	12名
	【お弁当企画】・天井 てんや	14名
9月	・敬老の日のお祝い	11名
	【スイーツ企画】・コーギーコーナー	13名
	【お弁当企画】・カニ甲羅	14名
10月	【お弁当企画】・くら寿司	13名
	【スイーツ企画】・ビアードパパ	11名
11月	無し	名
12月	・クリスマス会	14名
	【外食】・はま寿司	10名
1月	・新年会	13名
	【外食】・焼肉むさし	8名
2月	無し	名
3月	・ひなまつり	5名
	【お弁当企画】・一幸お花見弁当	14名
	【お花見】・新川	5名

4. 苦情受付報告

- ・苦情はありませんでした。

5. 地域交流・慰問

団体名	日付	参加人数	内容
—	—	—	—

- ・特にありませんでした。

6. 入居者状況（令和4年3月31日現在）

①月別入退所状況（令和3年度）

	入所	退所	退所の理由				月初日人数
			死亡	入院	介護施設	その他	
4月							14名
5月							14名
6月		1名			1名		14名
7月	2名						13名
8月							15名
9月							15名
10月		1名			1名		15名
11月	1名						14名
12月							15名
1月							15名
2月							15名
3月							15名
計	3名	2名	0名	0名	2名	0名	—

②年齢構成状況

年齢区分	男性	女性	合計
60歳未満	0名	0名	0名
60～64	0名	0名	0名
65～69	0名	0名	0名
70～74	0名	0名	0名
75～80	1名	2名	2名
81～84	1名	0名	3名
85～90	2名	4名	6名
90歳以上	3名	3名	8名
合計	6名	9名	15名

- ・最高年齢 男性 95歳 女性 99歳
- ・最低年齢 男性 80歳 女性 75歳
- ・平均年齢 男性 89歳 女性 88歳 総合平均年齢 89歳

③ADL等の状況

在宅サービス利用者	訪問介護	8名
	通所介護	8名
	訪問歯科	6名
移動（一部重複）	自立	9名
	杖使用	0名
	シルバーカー	7名
入浴	自立	7名
	一部介助（訪問・通所介護）	10名
着脱衣	自立	10名
	一部介助	2名
食事	ご飯と常食にて自立	11名
	ご飯ときざみにて自立	1名
	お粥ときざみにて自立	3名
洗面	自立	15名
金銭管理	自立	9名
	一部介助（銀行関係）	0名
	家族管理	6名
居室清掃	自立	7名
	介助（ヘルパー利用等）	8名
洗濯	自立	11名
	介助（ヘルパー利用等）	4名
買い物	自立	3名
	一部介助（家族、職員付き添い）	12名
	不可	0名
通院（一部重複）	自立	4名
	送迎介助（職員）	1名
	送迎・付き添い介助（職員）	10名
服薬管理	自立	6名
	一部介助	9名

令和3年度 愛生苑デイサービスかがやき 事業報告書

活動・外出報告

4 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・折り紙・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
5 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・ゲーム・折り紙・体操・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
6 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・ゲーム・手話・脳トレ体操・折り紙・おとなの学校
	行事企画	ソフトクリーム
	外出行事	無し
7 月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・折り紙・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
8 月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・脳トレ・折り紙・おとなの学校
	外出行事	無し
9 月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・折り紙・おとなの学校・
	外出行事	無し
10 月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・脳トレ・折り紙・ゲーム・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
11 月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・脳トレ・折り紙・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
12 月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・折り紙・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	クリスマス会

1月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・脳トレ・折り紙・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
2月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・脳トレ・折り紙・体操・おとなの学校
	行事企画	豆まき
	外出行事	無し
3月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し

年間会議

4月	かがやき会議	10月	かがやき会議
5月	かがやき会議	11月	かがやき会議
6月	かがやき会議	12月	かがやき会議
7月	かがやき会議	1月	かがやき会議
8月	かがやき会議	2月	かがやき会議
9月	かがやき会議	3月	かがやき会議

委員会活動・勉強会

6月	感染症委員会	食中毒予防について
11月	感染症委員会	新型コロナウイルス感染対策の確認

消防避難訓練

6月	令和3年6月25日（金）14時～14時30分 職員9名・ご利用者名合19 計28名で行った。 避難訓練（調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。） 通報訓練（119番通報） 消火訓練（水消火器を使い初期消火訓練を行った。）
11月	令和3年11月19日（金）14時～14時30分 職員9名・ご利用者18名合計27名で行った。 避難訓練（調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。） 通報訓練（119番通報） 消火訓練（水消火器を使い初期消火訓練を行った。）

実人数・延べ人数実績

月	実人数	延人数	月	実人数	延人数
4月	54名	438	10月	55名	462
5月	54名	439	11月	55名	463
6月	54名	454	12月	55名	464
7月	54名	512	1月	54名	416
8月	54名	490	2月	54名	414
9月	54名	466	3月	51名	471

2021年度延人数合計 5,489名

総評

- 活動については、昨年度に続き新型コロナウイルスの感染予防のため外出企画やボランティアの活動を年間通じて中止した。
次年度はどんなボランティア活動なら受け入れ可能か検討していく。
- 感染症委員会では、6月には食中毒の種類から食中毒を増やさないための対応方法を確認した。11月には新型コロナウイルスに自分が感染した場合と、家族に感染者が出た場合の対応方法について確認をした。
- 消防訓練を行い、火災発生時の職員の役割を再度確認することができた。職員の数によって避難誘導にかかる時間が変わってくるのでスムーズで安全に誘導できるように毎年訓練を行っていく。

令和3年度 グループホームなごみ 事業報告書

1. 事業所名

グループホームなごみ
(認知症対応型共同生活介護)

2. 職員数 (年度末時点)

管理者 常勤職員 1名 (小規模多機能居宅介護と兼務)
計画作成担当者 常勤職員 2名 (内、介護支援専門員は1名)
介護職員 常勤職員 9名
非常勤職員 5名
事務員 非常勤職員 1名

合計 18名

3. 年間利用実績

要介護度別入居実人数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	3	6	8	1	0
5月	3	5	8	1	0
6月	3	5	8	1	0
7月	3	4	8	1	0
8月	3	5	8	1	0
9月	2	5	8	3	0
10月	2	5	8	2	0
11月	3	5	7	2	0
12月	3	5	7	2	0
1月	2	5	7	2	1
2月	2	5	7	2	1
3月	2	6	7	2	1
合計	31	61	91	20	3

単位：人

要介護度別入居延べ人数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	90	157	240	30	0
5月	93	155	248	31	0
6月	90	144	240	30	0
7月	93	124	248	31	0
8月	93	155	248	31	0
9月	60	150	240	87	0
10月	62	155	247	62	0
11月	76	150	210	60	0
12月	93	155	217	62	0
1月	62	155	217	62	31
2月	56	140	196	56	28
3月	62	174	217	62	31
合計	930	1,814	2,768	604	90

単位：人

4. 会議実施内容

- 4月＝ケアパレット導入、ユニフォーム選定など
- 5月＝予算の考え方、環境整備方法など
- 6月＝記録方法の統一、ワクチン接種方法検討など
- 7月＝家族面会受け入れ方法、居室清掃の件など
- 8月＝新規利用者ケア検討、居室清掃の実施後再検討など
- 9月＝秋祭りについて、処置内容など
- 10月＝千葉西クリニック回診方法検討など
- 12月＝予算残額の使い道、年末年始の行事予定など
- 1月＝朝礼の実施、職員異動など
- 3月＝処遇改善加算、来年度担当決めなど

5. 実習生受け入れ

★新型コロナウイルス感染拡大の影響により受け入れ中止とする。

例年、大原医療秘書福祉専門学校より第一段階2名受け入れ

実習日数 12日間ずつ（小規模多機能と合計）

《実習内容》

コミュニケーション、入浴・排泄介助、口腔ケア、レクリエーション実践など

6. 運営推進会議

構成員～民生児童委員、高津緑が丘地域包括支援センター、他施設管理者
八千代市介護保険相談員、家族代表、愛生会職員

《開催状況》

第1回 11月18日 活動内容報告、感染症対策

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、開催は1回のみ。
資料送付にて対応。

7. レク活動実施内容

《定例》

ボランティア活動⇒新型コロナウイルス感染症の影響にて、受け入れ停止
職員活動⇒船橋オレンジ体操、誕生日会、母・父の日レク、園芸活動など

《地域交流》

- ・保育園交流（感染対策のため、ハロウィンにお菓子を届けるのみ）
- ・RUN伴（動画による参加）

《年間行事》

- ・秋祭り、クリスマス会、敬老会（小規模多機能の合同開催だが、フロアごとに行う）
- ・花見

8. 考察

- ・令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対応に注力しながらの業務が中心となった。
なごみ内での感染状況

- ・4月 小規模多機能ご利用者1名が感染
保健所し時にて2日間臨時休業。その間に、職員・利用者のPCR検査実施し、全員陰性確認し、再開。
- ・8月 小規模多機能ご利用者の同居家族2名が感染（本人は陰性）
保健所指示が得られないため、自主的に2日間臨時休業。全体の体調観察実施し、変化見られなかったため営業再開。

※グループホームでの感染確認はなし。

家族面会の実施については、感染状況を見ながら一時的に対面での実施をしたこともあったが、全般的にはガラス越し面会が中心となっている。

- ・今年度から義務付けとなった各種取り組みに関して

BCP策定～まだ情報収集として、先進的な取り組みをしている施設等の内容を集め、どう落とし込むかを考えている段階で終わってしまっている。

身体拘束廃止、感染症対策への取り組み～各担当委員からの発信をもとに、勉強会等を実施している。

基礎研修受講～受講対象者は5名だが、実際の受講には至っていない。

- ・年度途中で管理者が退職・交代し、不安や動揺も見られたが、主任の意識強化につながり、大きな混乱なく乗り越えることができています。

令和3年度 グループホームなごみ 事業報告書

1. 事業所名

小規模多機能居宅介護なごみ
(小規模多機能型居宅介護)

2. 職員数 (年度末時点)

管理者 常勤職員 1名 (認知症対応型共同生活介護と兼務)
計画作成担当者 常勤職員 1名
介護職員 常勤職員 8名
非常勤職員 4名
看護師 非常勤職員 1名
運転手 非常勤職員 1名
調理員 非常勤職員 1名

合計 17名

3. 年間利用実績

サービス別・月別延べ利用者数

	通い	宿泊	訪問	合計
4月	355	60	302	717
5月	400	69	275	744
6月	390	58	275	723
7月	378	60	269	707
8月	340	55	251	646
9月	365	61	253	679
10月	322	60	251	633
11月	335	71	262	668
12月	328	75	282	685
1月	367	112	333	812
2月	330	94	340	764
3月	354	89	389	832
合計	4,264	864	3,482	8,610
1日平均	11.7	2.3	9.5	23.6

単位：人

要介護度別登録者数

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4月	0	3	9	10	2	0	1	25
5月	0	2	8	11	2	0	1	24
6月	0	2	8	11	2	1	1	25
7月	0	1	8	11	2	1	1	24
8月	0	1	9	12	1	1	1	25
9月	0	1	7	14	1	1	1	25
10月	0	1	7	13	1	1	1	24
11月	0	1	8	13	0	1	1	24
12月	0	1	6	14	0	1	2	24
1月	0	1	7	14	0	1	2	25
2月	0	1	7	12	1	1	2	24
3月	0	1	5	13	1	1	2	23

単位：人

4. 会議実施内容

- 5月＝入浴体制見直し、申し送り徹底のための検討、カンファレンス など
- 6月＝サービス自己評価、カンファレンスなど
- 7月＝秋祭りについて、夜勤者の動きの見直しなど
- 8月＝コロナ対応の変更、人事（副主任）について、カンファレンスなど
- 9月＝上半期の進捗確認、RUN件について、カンファレンス など
- 10月＝送迎時などの緊急事態対応、面会実施について など
- 11月＝合鍵対応の意見聴取、記録方式の検討、カンファレンス など
- 12月＝カンファレンス、感染症対応方法勉強会など
- 1月＝BCP策定に示す意見交換、予算編成の希望聴取 など
- 3月＝新年度の体制、訪問の体制強化について など

5. 実習生受け入れ

★新型コロナウイルス感染拡大の影響により受け入れ中止とする。

例年、大原医療秘書福祉専門学校より第一段階2名受け入れ

実習日数 12日間ずつ（グループホームと合計）

《実習内容》

コミュニケーション、入浴・排泄介助、口腔ケア、レクリエーション実践など

6. 運営推進会議

構成員～民生児童委員、高津緑が丘地域包括支援センター、他施設管理者
八千代市介護保険相談員、家族代表、愛生会職員

《開催状況》

第1回 11月18日 活動内容報告、感染症対策

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、開催は1回のみ。
資料送付にて対応。

7. レク活動実施内容

《定例》

ボランティア活動⇒新型コロナウイルス感染症の影響にて、受け入れ停止
職員活動⇒ボーリング、卓球、工作、ドライブ、散歩、脳トレレクなど

《地域交流》

- ・保育園交流（感染対策のため、ハロウィンにお菓子を届けるのみ）
- ・RUN伴（動画による参加）

《年間行事》

- ・秋祭り、クリスマス会、敬老会（グループホームとの合同開催だが、フロアごとに行う）
- ・花見

8. 考察

- ・令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対応に注力しながらの業務が中心となった。

なごみ内での感染状況

- ・4月 ご利用者1名が感染
保健所し時にて2日間臨時休業。その間に、職員・利用者のPCR検査実施し、全員陰性確認し、再開。
- ・8月 ご利用者の同居家族2名が感染（本人は陰性）
保健所指示が得られないため、自主的に2日間臨時休業。全体の体調観察実施し、変化見られなかったため営業再開。

- 11月～2月ごろにかけ、骨折などにより自宅生活が困難となり、ロングショート利用となる方が相次ぎ、宿泊利用者が急増した。満室になる日も何度かあり、追加の希望に対して、日程変更をお願いせざるを得ないケースも発生した。他のショートステイを利用できない小規模多機能の制度の欠点と感じられる面が出てしまったので、今後も契約時の丁寧な事前説明を行っていかなくてはならない。
- 「L I F E」を活用した科学的介護推進体制加算を取得開始し、L I F Eでのデータ提出を行った。操作自体かなり難しく混乱があったが、何とか行えている。フィードバックの内容をどう活用していくかが、今後の課題となる。現時点ではあまり活用方法が見いだせていない。
- 今年度から義務付けとなった各種取り組みに関して
 - BCP策定～まだ情報収集として、先進的な取り組みをしている施設等の内容を集め、どう落とし込むかを考えている段階で終わってしまっている。
 - 身体拘束廃止、感染症対策への取り組み～部署内からの自発的な取り組みは弱く、併設グループホームの担当からの呼びかけに応じて、勉強会等を実施している。
 - 基礎研修受講～受講対象者は5名だが、実際の受講には至っていない。

令和3年度 八千代市村上地域包括支援センター愛生苑 事業報告書

1. 総合相談業務

相談件数・内訳

区分	項目	新規受付件数	対応延べ件数	
相談対応方法	電話	462	3476	
	来所	198	706	
	訪問	7	628	
	その他(FAX・メール)	3	112	
	合計	670	4922	
相談内容	権利擁護	消費者被害に関する相談	7	21
		成年後見制度に関する相談	11	56
		日常生活自立支援事業に関する相談	1	29
	介護	介護に関する相談	203	892
		介護保険制度に関する相談	278	1091
		施設入所に関する相談	30	140
		介護離職に関する相談	4	5
		ダブルケア(介護＋子育て)に関する相談	1	0
		福祉サービスに関する相談	55	261
	ケアマネ支援	ケースに関する相談	38	877
		地域資源に関する相談	1	23
		経済的相談	22	188
		介護予防事業に関する相談	4	74
		医療・健康に関する相談	139	894
		認知症に関する相談	84	743
		書類説明・管理に関する相談	14	96
		安否・状況確認に関する相談	48	190
		地域生活に関する相談	42	267
		その他	78	397
		小計	1060	6244
相談者	本人	144	1457	
	家族	264	1089	

成年後見人	0	1
民生委員	12	73
近隣住民・知人	22	72
商店・民間サービス業者・ボランティア(介護保険外)	20	111
住宅の管理者・大家・管理会社	13	120
介護支援専門員	47	1085
介護保険サービス事業者	14	207
医療関係者	53	442
行政機関	33	189
警察	31	51
消防	1	2
その他	16	23
合計	670	4922

※受付件数は令和3年度での新規受付の実数。

※継続延べ件数は当センターからの連絡等も1件と計上。

2. 権利擁護業務

①高齢者虐待防止・権利擁護に対する取り組み

日にち	実施主体	事項	目的			
			包括PR	虐待防止	認知症 サポーター	他機関 連携
令和3年4月 ～令和4年3 月	村上地区民生児童 委員連絡協議会	定例会(9回)	○	○		○
令和3年4月 ～令和4年3 月	村上東地区民生児 童委員連絡協議会	定例会(9回)	○	○		○
令和3年4月 ～令和4年3 月	上高野支会	定例会(6回)	○	○		○
令和3年6月 ～令和3年11 月	村上支会	定例会(5回)	○	○		○
4月13日 10月27日	村上地域包括支援 センター	村上地域包括支援センターパンフレット・高齢者 虐待防止パンフレットの設置(イトーヨーカドー)	○	○		○

令和3年4月～令和4年3月	村上地区 民生児童 委員連絡 協議会	定例会(9回)	○	○		○			民生児童委員との顔の見える関係作りを行う。個別ケースの発掘、継続支援についても多大なるご協力を頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。
令和3年4月～令和4年3月	村上東地区 民生児童 委員連絡 協議会	定例会(9回)	○	○		○			民生児童委員との顔の見える関係作りを行う。個別ケースの発掘、継続支援についても多大なるご協力を頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。
令和3年4月～令和4年3月	上高野支 会	定例会(6回)	○	○		○			福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源など情報提供を行っている。顔の見える関係も出来、福祉委員を通してのケース相談や地域課題の抽出にもつながっている。
令和3年6月～令和3年11月	村上支会	定例会(5回)	○	○		○			福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源など情報提供を行っている。顔の見える関係も出来、福祉委員を通してのケース相談や地域課題の抽出にもつながっている。
4月13日 10月7日	だんらんの 家 上高野	運営推進 会議				○		事業所の健全な運営、利用者の充実した生活の実現。	事業所の現状や活動内容を把握した。
5月10日 7月12日 9月13日 11月8日 1月10日 3月14日	特別養護 老人ホーム むらかみの 郷	運営推進 会議 (全て書面 会議)				○		施設・の健全な運営、入居者の快適で充実した生活の実現。	施設の現状、活動内容、取り組みを把握した。
5月20日 7月15日 9月23日 11月18日 1月17日 3月20日	小規模多 機能ホーム アゼリアガ ーデン	運営推進 会議の出席 (9月は書 面会議)				○		事業所の健全な運営、利用者の充実した生活の実現。	事業所の現状、年間計画や活動内容、取り組みを把握した。会議にて意見交換することにより、利用者の生活の質の向上に繋がると期待できる。

9月15日 3月16日	定期巡回・ 随時対応 型訪問介 護看護村 上の郷	運営推進 会議(書面 会議)				○	事業所の健全な運 営、利用者の充実し た生活の実現。	事業所の現状、年間計画や活動 内容、取り組みを把握した。
6月10日	村上東地 区民生児 童委員連 絡協議会	民生委員と 地域包括 支援センタ ーの連携に ついての講 義	○			○	地域包括支援セン ターの説明、民生委 員からの質問対応、 その他連携強化に 向けての周知活動	包括について前回の説明と併せ て理解できたとの感想あり。連携 の必要性の周知と今後の連携強 化につながったという印象を得 る。
7月28日	モーニング サロン	健康教室				○	健康教育のみでな く、秀明大学教育実 習生による健康教 室を実施することに より、大学と地域の 資源のつながりを作 ることも目的とした。	サロンの活性化や、大学と地域 のグループとの新しいつながりの 一歩となった。
11月11日	英和高校	福祉教育 (社会福祉 士について の講演)	○				福祉専攻の学生向 けに各専門職の説 明と実際の活動に ついて講演を行う。	生徒それぞれが興味ある資格だ けでなく、広く各専門職の活動場 面の理解がされ、将来の職業選 択に役立ったと実感している。
11月18日	村上年金サ ロン	地域包括 支援センタ ーの説明	○			○	フレイルについての 講義	参加者の声から、自らの活動に つながり、介護予防効果が得ら れると期待できる。

②介護支援専門員等に対する個別支援

実施種別	実施の有無	
	有	無
相談窓口	有	無
支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	有	無
個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	有	無
質の向上のための研修	有	無
ケアプラン作成指導等を通じた介護支援専門員のケアマネジメント指導	有	無
介護支援専門員同士のネットワーク構築	有	無

介護支援専門員に対する情報支援	有	無
ケアプランの趣旨に基づいてサービスが提供されるよう、居宅サービス事業所への研修等の働きかけ	有	無
その他(具体的内容を簡潔に記載)		
・令和3年7月15日(木) ケアマネジメント研修会「利用者の特性に応じた接し方とクレーム対応」 ・令和3年12月15日(水) ケアマネジメント研修会「ケアマネジャーにおけるソーシャルワーク技術」		

③地域ケア会議開催実績

開催状況	開催件数	1
	内容(重複可)	
	独居高齢者世帯に関するもの	0
	高齢者世帯に関するもの	0
	認知症高齢者の支援に関するもの	1
	介護支援専門員支援に関するもの	0
	その他	0
	参加者(職種)	
同居人・介護支援専門員・民生委員・住宅管理関係者 地域包括支援センター(生活支援コーディネーター・主任介護支援専門員)		

4. 介護予防普及啓発事業 (いきいき教室の開催)

日にち	参加人数	場所	テーマ・内容
5月25日	8名	村上団地1街区37棟	テーマ: 運動機能向上 転倒予防 認知症予防 内容: 運動の必要性について学ぶ 運動習慣による身体的効果について 転倒による危険性を学ぶ 継続した運動の必要性について学ぶ
5月28日	5名	第1集会所	
5月31日	15名	栄町公会堂	
6月3日	10名		
6月8日	7名	上高野原連合自治会館	
6月10日	1名		
6月22日	20名	台町公園	
6月25日	16名		
10月6日	17名	台町公園	
10月8日	16名		

10月11日	12名	栄町公会堂	身近で手軽にできる体操の実施 認知症について理解し、予防すること を学ぶ
10月14日	7名		
10月19日	7名	上高野原連合自治会館	
10月21日	11名		
11月9日	7名	村上団地1街区37棟 第1集会所	
11月12日	6名		

5. 認知症地域支援・ケア向上一部事業

日にち	実施内容
毎月1回程度	八千代市認知症地域支援推進員会議出席
通年	認知症ケアパスの作成
5月26日 12月3日	認知症初期集中支援チームとの連携強化意見交換会
6月14日	認知症サポーター養成講座開催(八千代東高校)
6月24日	アルツハイマーデーの図書館展示について八千代中央図書館と打ち合わせ
7月12日	認知症家族交流会開催(市内包括共催)
9月1日	アルツハイマーデーの図書館展示について八千代中央図書館に訪問
9月21日～24日	アルツハイマーデーに伴い、オレンジ色のTシャツを着用し活動
11月16日	認知症サポーター養成講座開催(村上小学校)
その他	認知症に対する相談対応・関係機関へのつなぎ

※認知症関連個別相談は総合相談実績に含む。

6. 生活支援体制整備事業

日にち	活動実績
通年	村上・村上東民生委員児童委員協議会出席 (包括的継続的ケアマネジメント実績参照)
通年	上高野原支会出席(包括的継続的ケアマネジメント実績参照)
通年	村上支会出席(包括的継続的ケアマネジメント実績参照)

隔月	八千代市生活支援コーディネーター会議
4月8日	介護予防サロンローズマリー訪問
4月9日	村上中央支会ミニ歩こう会参加
4月14日	大野台元気体操グループ訪問
4月16日	元気体操グループいちよの会訪問
4月19日	元気体操グループけやきの会訪問
4月21日	元気体操グループオパール訪問
4月26日	元気体操グループけやきの会訪問
4月28日	元気体操グループオパール訪問
5月13日	スタンプラリーについて第1層SCと話し合い
5月14日	モーニングサロン訪問(スタンプラリー特典について)
5月18日	地域ケア個別会議参加
5月20日	アゼリアガーデン運営会議にてスタンプ場所交渉
5月24日	元気体操グループけやきの会訪問
5月26日	大野台元気体操グループ訪問
6月10日	包括と民生委員の連携についての研修(村上東民児協)
6月11日	メディカルウォーキング参加
6月14日	八千代東高校認知症サポーター養成講座
6月28日	元気体操グループけやきの会訪問
7月7日	モーニングサロン訪問(実習生健康教室について)
7月14日	モーニングサロン訪問
7月26日	元気体操グループオパールの会訪問
7月28日	モーニングサロンにて秀明大学実習生の健康教室実施
8月17日	八千代東高校福祉教育打ち合わせ
8月31日	モーニングサロン訪問

9月15日	福祉教育打ち合わせ
9月17日	緑寿会体操支援(協議体)
9月22日	八千代東高校福祉教育講義
9月24日	八千代東高校福祉教育講義
10月15日	緑寿会体操支援
10月26日	生活支援担い手養成講座1日目
10月28日	第1層SCと担い手養成講座打ち合わせ
10月29日	生活支援担い手養成講座2日目
11月2日	生活支援担い手養成講座3日目
11月4日	阿蘇中学校 HUG 参加
11月5日	阿蘇中学校 DIG 参加
11月5日	緑寿会体操支援
11月11日	英和高校にて福祉職について講演
11月18日	村上年金サロンにて包括およびフレイルについて講座
11月19日	緑寿会体操支援
11月26日	第1層SCと生活支援2層協議体打ち合わせ
11月30日	第1回生活支援第2層協議体開催
12月3日	緑寿会体操支援
12月16日	八千代市第1層協議体会議
1月25日	『にないて』第1回定例会
1月31日	SCフォローアップ研修2日目 Zoom
2月22日	『にないて』第2回定例会
3月3日	村上圏域第2層生活支援協議体書面会議
3月16日	元気体操グループオパール訪問
3月22日	『にないて』第3回定例会

7. 指定介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

①介護予防支援給付管理実績（月遅れ請求分は請求月に含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理件数	87	86	93	92	89	88	88	89	88	92	96	98	1086
内 包括分	33	33	35	33	32	33	34	32	32	33	34	37	401
内 委託分	54	53	58	59	57	55	54	57	56	59	62	61	685

②介護予防ケアマネジメント給付管理実績（月遅れ請求分は請求月に含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理件数	105	107	108	108	107	110	109	113	112	103	100	101	1283
内 包括分	43	43	43	42	43	44	44	46	45	38	37	36	504
内 委託分	62	64	65	66	64	66	65	67	67	65	63	65	779

③介護予防支援、介護予防ケアマネジメント実務数（センター担当分）

a. 介護予防支援サービス計画作成数

新規	再作成	合計
22	54	76

b. 訪問対応件数

実数	延数
26	645

c. 電話・来所対応件数

電話	ケースに関連する内容	3770
	ケース以外の内容	37
来所	ケースに関連する内容	272
	ケース以外の内容	25

④介護予防支援、介護予防ケアマネジメント一部業務委託先一覧

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント 一部業務委託事業所（順不同）	
グリーンヒル指定居宅介護支援事業所	さくらリハビリ訪問看護ステーション
セントマーガレット病院	ヤックスケアプラン大和田
NPO法人 ユーアイやちよ勝田台	ほっとケア和
勝田台病院	ケアプラン相談所・元気庵八千代店
在宅介護支援センター愛生苑	コープみらい高津介護センター
ライフパートナー居宅介護支援事業所	千葉新都市ラーバンクリニック
勝田台ケアセンターそよ風	マイミーケアサービス
在宅介護支援センター美香苑	在宅介護支援センター八千代城
あすなろ介護サービス	ケイワ介護サービス
居宅介護支援事業所オーケーサービス	スマイル(合同会社ネクスト・ワン)
ういず・ユー介護プラン相談所 支え愛	ケースマネジメントオフィス スマイルリンク
ファーストステージ居宅介護支援センター	居宅介護支援事業所グリーンケア
ケアサービス伊東 てまり営業所	大和田訪問看護ステーション
指定居宅介護支援事業所ほうゆうの里	ういず・ユー支え愛志津居宅介護支援事業所
癒しのケアプランセンター志津居宅介護支援事業所	介護屋みらい船橋店
あずみ苑勝田台	ひとつの枝
居宅介護支援事業所はにーびい	花見の里

※令和3年度中に給付管理を行なった居宅介護支援事業所

8. 研修参加

日にち	研修名	参加者
7月14日	八千代市在宅医療・介護連携支援センター研修	看護師
9月16日、17日	令和3年度認知症地域支援推進員研修 現任者研修	認知症地域支援推進員
10月7日	令和3年度地域包括支援センター職員向け研修会	看護師・社会福祉士
10月27日	生活支援体制整備事業に係る生活支援コーディネーターフォローアップ研修	生活支援コーディネーター
11月11日	八千代市在宅医療介護連携推進事業市民向け講演会	社会福祉士

11月12日	第9回介護・医療従事者向け多職種協働認知症セミナー	看護師・社会福祉士
11月29日	八千代市地域ケア会議	主任介護支援専門員
12月6日、 14日、21日	令和3年度千葉県高齢者虐待防止対策研修会(現任職員研修)	社会福祉士
12月10日	千葉県キャラバンメイト養成研修	社会福祉士
12月15日	八千代市地域包括支援センター主催ケアマネジメント研修	社会福祉士
12月20日、21日	令和3年度千葉県地域包括支援センター職員研修	主任介護支援専門員
1月13日	八千代市在宅医療・介護連携支援センター研修	介護支援専門員
1月31日	生活支援体制整備事業に係る生活支援コーディネーターフォローアップ研修	生活支援コーディネーター
2月15日	介護予防事業従事者研修会	保健師・看護師
2月26日	令和3年度認知症疾患医療センター研修会	保健師
3月1日、 2日	令和3年度介護予防担当者研修	保健師
3月10日	第15回千葉県地域連携の会 研修会	看護師

9. 会議参加

日にち	会議名	出席者
毎月1回	八千代市地域包括支援センター管理者会議	センター長
毎月1回	同・包括的・継続的ケアマネジメント会議	主任介護支援専門員
毎月1回	同・権利擁護会議	社会福祉士
毎月1回	同・介護予防関連会議	保健師等
毎月1回	村上地域包括支援センター課内会議	全職員

※その他、地域関係者との会議については包括的・継続的ケアマネジメント欄に記載。